〈九州地域指定生乳生産者団体〉九州生乳販売農業協同組合連合会

九州生乳販連会報

No. 64
November 2018

TOPICS

自然災害に係る義援金の拠出について 1
加工原料乳生産者経営安定対策事業に係るお知らせ 1
酪農情勢報告 2
平成31年度乳価交渉について 3
平成30年度販売状況について 3
平成30年度会員別生乳受託乳量 4
月別受託生乳検査成績 4
平成30年度ポジティブリスト制度に係る検査対象物質の定期的検査結果について 5
PAGｓ検査（妊娠判定）の導入について 6
酪農理解醸成・消費拡大対策事業　お知らせとご報告について 8

自然災害に係る義援金の拠出について

平成30年度は深刻な豪雨・台風被害が相次ぎ、９月６日には北海道胆振東部地震が発生、各地域では生乳流通経路の寸断、大規模停電、乳牛及び施設への損害に見舞われております。

これらの災害において被害を受けた酪農家を支援するため、中央酪農会議において義援金を募集することとなりました。

これを受け、九州においても下記の通り義援金を拠出することといたしました。

１．対象の自然災害について
（1）平成30年７月豪雨
（2）平成30年台風（５号、６号、７号、８号、12号、20号、21号）
※台風24号についても対象とすることを検討中
（3）北海道胆振東部地震

２．義援金の拠出について
（1）拠出額
中央酪農会議からの割当（6,900千円）を目安に、下記（２）（３）により拠出します。
（2）酪農家からの拠出　平成30年度乳価対策資金にて対応いたします。
（（１）と（３）との差額　約5,100千円）
（3）役職員等からの拠出　本会、会員及び会員生産者組織の役職員を対象とし、本会にて取りまとめて対応いたします。（11月７日現在　約1,800千円）

なお、上記対応につき、11月６日開催の生乳受託販売委員会及び理事会において承認されました。

加工原料乳生産者経営安定対策事業に係るお知らせ

１．平均取引価格等の通知

独立行政法人農畜産業振興機構より、平成29年度平均取引価格及び平成30年度補填基準価格について通知がありましたのでお知らせします。

１　平成29年度平均取引価格	８３．４３円／ｋｇ
２　平成30年度補填基準価格	８２．４４円／ｋｇ
＊平成30年度生産者拠出金単価（加工原料乳１ｋｇあたり）	０．２０円／ｋｇ

２．類似制度に関する情報について

当事業の類似制度とされる収入保険制度の加入申請手続きが、平成30年10月１日より開始されました。この両者には重複加入できないこととされておりますのでご注意ください。なお、収入保険制度に関する詳細は地域のNOSAI窓口までお問い合わせください。

酪農情勢報告

1.九州の生乳出荷戸数

平成30年9月の生乳出荷戸数は1,371戸で、平成30年3月時点の1,398戸と比較すると27戸減少しています。

2.九州の乳用種雌牛飼養頭数と出生頭数

23カ月令以下の頭数は、昨年12月に前年を上回って以降7～9月も前年を上回る推移が続いています。一方、24カ月令以上の頭数は前年を下回って推移しており、総頭数でも前年を下回った推移となっています。

表1　乳用種雌牛飼養頭数　（単位：頭）

		7月	8月	9月
23カ月令以下	30年	28,336	28,022	27,835
	増減	315	650	668
	前年比	101.1%	102.4%	102.5%
24カ月令以上	30年	78,863	78,866	78,534
	増減	-1,368	-1,343	-1,412
	前年比	98.3%	98.3%	98.2%
総頭数	30年	107,199	106,888	106,369
	増減	-1,053	-693	-744
	前年比	99.0%	99.4%	99.3%

注：Jミルクホームページより

出生総頭数は、6、7月は前年を上回り、8月は前年を下回りました。6～8月累計では前年を上回っています。また、出生頭数の内訳として、乳用種雌および乳用種雄は前年を上回っており、交雑種は前年を下回っています。

表2　出生頭数　（単位：頭）

		6月	7月	8月
総頭数	30年	2,742	4,045	4,351
	増減	69	421	-150
	前年比	102.6%	111.6%	96.7%
うち、乳用種雌	30年	640	1,026	1,138
	増減	107	197	86
	前年比	120.1%	123.8%	108.2%
うち、乳用種雄	30年	433	736	876
	増減	-21	51	2
	前年比	95.4%	107.4%	100.2%
うち、交雑種	30年	1,234	1,878	1,907
	増減	-68	180	-146
	前年比	94.8%	110.6%	92.9%

注：Jミルクホームページより

3. 生乳需給

(1)生乳受託販売数量

7～9月の九州の生乳受託販売数量は、昨年に引き続き今年の猛暑も非常に厳しかったものの、昨年の落ち込みが大きかった反動もあり、前年を上回りました。また、7～9月の都府県の生乳受託販売数量は前年を下回り、北海道の生乳受託販売数量は、7、8月と前年を上回っていましたが、9月は北海道胆振東部地震の影響を受け、前年比が大きく落ち込んでいます。

表3　生乳受託販売数量　（単位：t、%）

		7月	8月	9月
九州		47,992	46,772	46,132
	前年比	101.2	103.3	100.7
都府県		255,511	251,736	245,528
	前年比	97.3	99.0	97.9
北海道		333,391	328,394	291,220
	前年比	103.2	102.4	94.8
全国		588,902	580,130	536,748
	前年比	100.5	100.9	96.2

注：中央酪農会議　用途別販売実績（速報）より

(2)生乳販売状況

7～9月の全国の生乳需給は、7、8月は猛暑で生乳生産の減少と飲用需要の増加により生乳需給が逼迫する中、飲用牛乳等向けは前年を上回った一方、9月は北海道胆振東部地震の影響により全国の生乳需給が大逼迫に陥る中、飲用牛乳等向けは前年を下回りました。また、7～9月のはっ酵乳等向け、クリーム等向け、チーズ向けは前年を下回り、脱脂粉乳・バター等向けは前年を上回った推移となっています。

九州においては、7～9月の生乳生産が前年を上回る中、飲用牛乳等向け、脱脂粉乳・バター等向けが前年を上回り、はっ酵乳等向けがほぼ前年並み、クリーム等向け、チーズ向けは前年を下回りました。

表4　用途別販売数量　（単位：t、%）

		7月	8月	9月
九州	飲用牛乳等	34,819	33,322	35,477
	（前年比）	101.9	103.9	102.1
	はっ酵乳等	8,256	8,275	7,801
	（前年比）	99.5	99.4	99.7
	脱脂粉乳・バター等	2,595	2,637	731
	（前年比）	105.7	119.5	100.3
	クリーム等	2,223	2,439	2,049
	（前年比）	92.2	94.1	84.5
	チーズ	97	100	74
	（前年比）	98.2	99.8	75.3
全国	飲用牛乳等	287,294	272,033	279,969
	（前年比）	100.6	102.9	95.3
	はっ酵乳等	41,265	41,469	38,312
	（前年比）	98.2	98.9	100.3
	脱脂粉乳・バター等	112,441	122,394	83,279
	（前年比）	103.2	101.2	99.0
	クリーム等	112,764	110,707	108,329
	（前年比）	98.4	97.7	99.1
	チーズ	35,138	33,527	26,859
	（前年比）	101.5	98.3	82.5

注：中央酪農会議　用途別販売実績（速報）より

4. 今後について

今年の夏場は猛暑に加えて大雨・台風・地震等の自然災害により生乳需給は大混乱に陥るとともに、生産減場にも深い傷跡を残しました。北海道胆振東部地震で大きな問題となったブラックアウトとそれにより見えてきた非常用電源の確保という課題は、生乳という保存の利かない生ものを扱うこの業界において、どこまで非常事態にコストを掛けて備えるのかという問題を突きつけました。九州においても、毎年襲来する台風や平成28年熊本地震が発生したことを考えると避けては通れぬ問題ですが、一方でコストが掛かることでもあり、今後これらを踏まえて検討していくことが必要と考えます。また、今回の北海道胆振東部地震のように全国の需給が大混乱に陥った場合の対応方法も、今後乳業者や全国連と協議していきます。

平成３１年度乳価交渉について

平成31年度乳価交渉につきましては、農林水産省に設置された「生乳取引のあり方等検討会」が平成27年10月に取りまとめた報告に基づき、平成30年12月末までに交渉を終了することとしています。

それに伴い、九州においては、９月７日に大手乳業メーカーへ「平成31年度生乳取引について」の要請文書を発送し、交渉に着手しております。

九州の生乳生産基盤を取り巻く環境は、自然災害の多発や生産コストの増加、経営者の高齢化・後継者不足等で厳しい状況ではありますが、若手酪農家（後継者）を含む多くの生乳生産者が今後も継続的・安定的に酪農経営に取り組み、将来への展望が持てるよう、各乳業メーカーとの交渉に全力を傾注して参ります。

平成30年度販売状況について

用途別生乳販売実績

（単位　数量：t、前年比：%）

用途		7月			8月			9月			第2四半期計			３０年度累計		
		数量	前年比	単価	数量	前年比	単価	数量	前年比	単価	数量	前年比	単価	数量	前年比	単価
飲用等向け	域内飲用向	25,173	100.5	110.749	26,370	98.6	110.267	24,435	96.5	111.585	75,977	98.5	110.875	146,210	100.4	110.988
	学校給食向	2,655	105.2		346	143.3		3,811	91.3		6,811	98.1		18,174	99.1	
	域外飲用向	7,293	105.7		6,890	128.7		7,553	136.2		21,736	169.7		54,437	108.0	
	飲用牛乳等計	35,120	101.9		33,605	103.9		35,799	102.1		104,524	107.9		218,822	102.1	
	はっ酵乳等向	8,256	99.5		8,275	99.4		7,801	99.7		24,332	99.5		47,637	99.0	
	飲用等向計	43,376	101.4		41,881	103.0		43,599	101.7		128,856	106.2		266,458	101.5	
特定乳製品向け	脱脂粉乳・バター等向	2,621	105.5	82.442	2,676	119.2	84.434	739	100.2	85.415	6,036	110.4	83.894	21,775	101.3	81.526
	クリーム等向	2,239	92.1		2,455	94.0		2,063	84.5		6,757	90.3		14,703	94.7	
	チーズ向	97	98.2		100	99.8		74	75.3		271	91.2		569	96.4	
	特定乳製品向計	4,957	98.9		5,230	105.6		2,876	87.8		13,063	98.6		37,047	98.5	
販売乳量合計		48,333	101.2	107.845	47,111	103.3	107.399	46,476	100.7	109.966	141,919	105.5	108.392	303,506	101.2	107.392

支払乳代

（単位　金額：千円、単価：円）

項目	7月		8月		9月		第2四半期計		３０年度累計	
	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価	金額	単価
生乳販売金額①	5,212,523	107.845	5,059,625	107.399	5,110,708	109.966	15,382,856	108.391	32,594,123	107.392
脂肪加算金	26,851	0.556	22,712	0.482	29,402	0.633	78,965	0.556	187,570	0.618
無脂固形加算金	35,897	0.743	34,899	0.741	40,021	0.861	110,818	0.781	253,387	0.835
成分加算金計②	62,748	1.298	57,612	1.223	69,423	1.494	189,783	1.337	440,956	1.453
季節別調整率③	110%		111%		114%					
季節別調整額	521,205	10.784	556,519	11.814	715,468	15.396	1,793,192	12.636	1,093,364	3.603
調整後乳代④=①×③	5,733,729	118.629	5,616,143	119.212	5,826,175	125.360	17,176,047	121.026	33,687,487	110.994
販売手数料	17,389	0.360	17,021	0.361	17,687	0.381	52,097	0.367	102,385	0.337
生乳検査料	5,800	0.120	5,653	0.120	5,577	0.120	17,030	0.120	36,421	0.120
送乳経費	192,511	3.983	188,065	3.992	185,763	3.997	566,340	3.991	1,243,153	4.096
需要者負担額（運賃補填）	-1,063	-0.022	-1,602	-0.034	-1,998	-0.043	-4,664	-0.033	-8,477	-0.028
CS・冷却費	48,333	1.000	47,535	1.010	45,546	0.980	141,414	0.996	300,467	0.990
プール費用⑤	262,971	5.441	256,673	5.448	252,574	5.435	772,218	5.441	1,673,948	5.515
差引乳価②+④−⑤	5,533,506	114.486	5,417,082	114.987	5,643,024	121.419	16,593,612	116.923	32,454,495	106.932

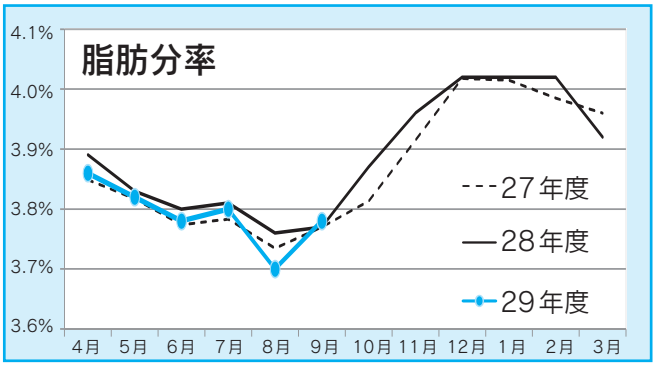
平成30年度会員別生乳受託乳量

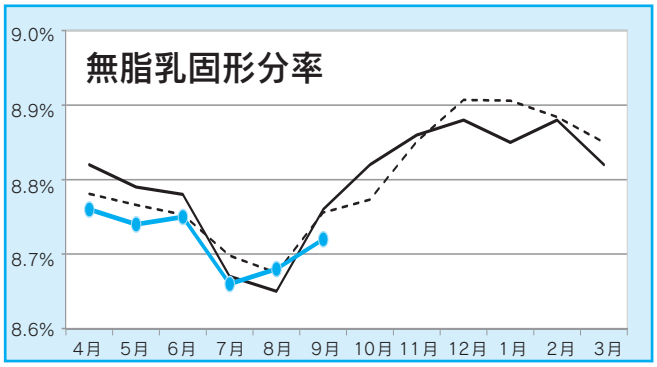
（単位：t ,%）

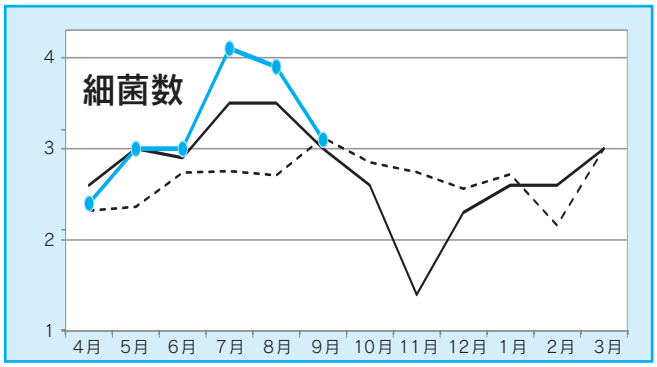
	ふくおか県酪協			佐賀県農協			長崎県酪連			熊本県酪連		
	実　績	H29比	H28比	実　績	H29比	H28比	実　績	H29比	H28比	実　績	H29比	H28比
4　月	6,797	100.9	97.8	1,354	105.9	97.3	3,473	96.0	95.2	22,328	103.6	105.8
5　月	6,856	100.6	98.1	1,314	101.1	94.2	3,477	94.4	94.5	22,427	101.6	101.9
6　月	6,303	99.0	96.5	1,191	101.1	91.2	3,137	93.8	91.7	20,771	100.3	101.3
7　月	5,977	100.2	93.3	1,124	103.0	88.6	2,985	95.5	93.0	19,651	102.1	97.6
8　月	5,893	101.5	95.5	1,110	103.6	92.9	2,834	96.6	88.8	19,351	104.8	100.7
9　月	5,861	99.2	95.6	1,100	98.1	93.1	2,856	95.9	89.3	19,208	102.5	99.9
合　計	37,686	100.2	96.2	7,193	102.2	93.0	18,762	95.3	92.2	123,735	102.4	101.3

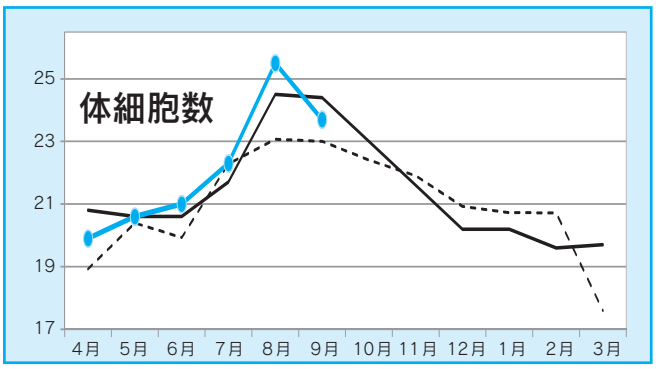
	大分県酪協			宮崎県経済連			鹿児島県酪協			合　　計		
	実　績	H29比	H28比	実　績	H29比	H28比	実　績	H29比	H28比	実　績	H29比	H28比
4　月	6,257	101.1	98.1	7,035	99.9	96.8	7,970	104.2	100.0	55,214	102.1	100.9
5　月	6,270	100.8	96.6	7,118	99.2	95.3	7,909	100.7	97.0	55,370	100.4	98.6
6　月	5,823	100.3	96.9	6,537	98.1	94.9	7,241	100.2	97.9	51,003	99.5	98.0
7　月	5,546	103.1	94.0	6,247	99.3	92.7	6,803	101.7	97.4	48,333	101.2	95.4
8　月	5,407	104.7	95.4	6,034	102.1	93.0	6,482	103.5	95.0	47,111	103.3	96.6
9　月	5,276	102.5	95.0	5,916	99.5	93.0	6,258	99.0	94.4	46,476	100.7	96.3
合　計	34,579	102.0	96.1	38,887	99.6	94.3	42,664	101.6	97.1	303,506	101.2	97.7

月別受託生乳検査成績









平成30年度ポジティブリスト制度に係る検査対象物質の定期的検査結果について

平成30年10月に、ポジティブ制度に関する農薬等残留検査が全国で実施されました。九州においては、10本（合乳）の検査が実施されました。結果は、全ての項目において検出されず九州産の生乳が安全であることが第三者の検査により確認されました。

コース名	検査感度	検査方法	対象物質名	結果
九州1	0.02 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾞﾋﾄﾞﾛｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ及びｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ|ｼﾞﾋﾄﾞﾛｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ	検出せず
	0.02 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾞﾋﾄﾞﾛｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ及びｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ|ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｱﾄﾗｼﾞﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ﾍﾞﾝﾀｿﾞﾝ	検出せず
	0.005 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾛﾏｼﾞﾝ	検出せず
九州2	0.005 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｲﾍﾞﾙﾒｸﾁﾝ(22,23-ｼﾞﾋﾄﾞﾛｱﾍﾞﾙﾒｸﾁﾝ B[_1a]として)	検出せず
	0.005 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｴﾌﾟﾘﾉﾒｸﾁﾝ(ｴﾌﾟﾘﾉﾒｸﾁﾝB[_1a]として)	検出せず
	0.00005 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ﾃﾞｷｻﾒﾀｿﾞﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｱﾗｸﾛｰﾙ	検出せず
	0.01 ppm	ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ	検出せず
九州3	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｴﾝﾛﾌﾛｷｻｼﾝ(ｼﾌﾟﾛﾌﾛｷｻｼﾝとの和として)	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	[ﾓﾉ,ﾋﾞｽ(塩化ﾄﾘﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑﾒﾁﾚﾝ)]-ｱﾙｷﾙﾄﾙｴﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	塩化ｼﾞﾃﾞｼﾙｼﾞﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ	検出せず
	0.01 ppm	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄ	検出せず
九州4	0.01 ppm	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ	ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ,ｸﾛﾙﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ及びﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ|ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ	検出せず
	0.01 ppm	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ	ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ,ｸﾛﾙﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ及びﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ|ｸﾛﾙﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ	検出せず
	0.01 ppm	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ	ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ,ｸﾛﾙﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ及びﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ|ﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｲｿｼｱﾇﾙ酸	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾞﾒﾃﾅﾐﾄﾞ	検出せず
九州5	0.02 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｶﾅﾏｲｼﾝ	検出せず
	0.01 ppm	ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾌﾙﾄﾘﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ﾁﾌｪﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ	検出せず
九州6	0.02 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾞﾋﾄﾞﾛｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ及びｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ|ｼﾞﾋﾄﾞﾛｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ	検出せず
	0.02 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾞﾋﾄﾞﾛｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ及びｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ|ｽﾄﾚﾌﾟﾄﾏｲｼﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｱﾄﾗｼﾞﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ﾍﾞﾝﾀｿﾞﾝ	検出せず
	0.005 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾛﾏｼﾞﾝ	検出せず
九州7	0.005 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｲﾍﾞﾙﾒｸﾁﾝ(22,23-ｼﾞﾋﾄﾞﾛｱﾍﾞﾙﾒｸﾁﾝ B[_1a]として)	検出せず
	0.005 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｴﾌﾟﾘﾉﾒｸﾁﾝ(ｴﾌﾟﾘﾉﾒｸﾁﾝB[_1a]として)	検出せず
	0.00005 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ﾃﾞｷｻﾒﾀｿﾞﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｱﾗｸﾛｰﾙ	検出せず
	0.01 ppm	ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ	検出せず
九州8	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｴﾝﾛﾌﾛｷｻｼﾝ(ｼﾌﾟﾛﾌﾛｷｻｼﾝとの和として)	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	[ﾓﾉ,ﾋﾞｽ(塩化ﾄﾘﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑﾒﾁﾚﾝ)]-ｱﾙｷﾙﾄﾙｴﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	塩化ｼﾞﾃﾞｼﾙｼﾞﾒﾁﾙｱﾝﾓﾆｳﾑ	検出せず
	0.01 ppm	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ	ｸﾞﾘﾎｻｰﾄ	検出せず
九州9	0.01 ppm	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ	ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ,ｸﾛﾙﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ及びﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ|ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ	検出せず
	0.01 ppm	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ	ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ,ｸﾛﾙﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ及びﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ|ｸﾛﾙﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ	検出せず
	0.01 ppm	高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ	ｵｷｼﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ,ｸﾛﾙﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ及びﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ|ﾃﾄﾗｻｲｸﾘﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｲｿｼｱﾇﾙ酸	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾞﾒﾃﾅﾐﾄﾞ	検出せず
九州10	0.02 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｶﾅﾏｲｼﾝ	検出せず
	0.01 ppm	ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ｼﾌﾙﾄﾘﾝ	検出せず
	0.01 ppm	液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌｨｰ質量分析法	ﾁﾌｪﾝｽﾙﾌﾛﾝﾒﾁﾙ	検出せず

PAGs検査(妊娠判定)の導入について

乳汁による妊娠確認検査が可能

人工授精後28日目より妊娠・空胎の確認可能

1．PAGs検査導入について

酪農生産基盤強化対策のひとつとして、乳牛増頭による後継雌牛の確保等につながると思われるPAGs検査（妊娠判定）を導入いたします。

PAGs検査のメリットとしては、妊娠確認による空胎牛の早期発見と、適切な再授精への活用によるコストの省力化などがあり、繁殖成績の向上と生乳生産量の増加に繋がればと考えております。

検査開始時期　平成31年1月以降を予定
検査料金設定　**1検体あたり800円前後を予定**（採取容器を含む）
検体送料　通常の牛群・取引検体輸送専用クーラーボックスと混載することにより、生乳検査所負担にて取り扱う予定です。
（注）PAGs検査のみの発送については、会員（生産者）の負担となります。

現在、1日も早く皆さまにご提供できるよう準備を進めております。
詳細につきましては、農協及び連合会の各担当者へお問い合わせください。

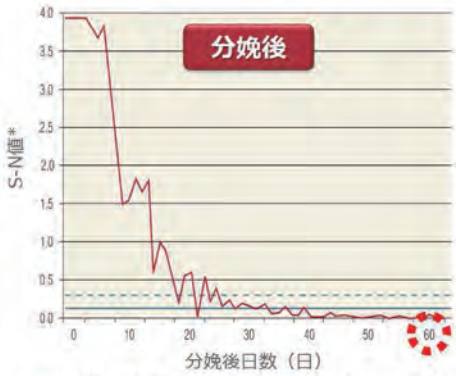
2. PAGs検査とは

検査名　PAGs検査（Pregnancy Associated Glycoproteins：妊娠関連糖タンパク）
原理　妊娠時のみ胎盤より分泌される糖タンパクを乳汁中の**PAGs（糖タンパク）レベル**を調べることにより、**妊娠／空胎の確認（あるいは妊娠継続確認）が可能**で妊娠確認の指標として有用である。（糖タンパク：アスパラギン酸プロテアーゼは22種以上ある中の一種）

3. 検査可能期間

※分娩後60日目、且つ、人工授精後28日目より妊娠確認が可能となっております。
※最終的な判定は獣医師等による直腸検査の判断が必要となります。

人工授精後28日以降にPAGレベルが低い場合は、不受胎の確認が可能となり、次の発情日を計算して速やかに再度種付けすることができます。

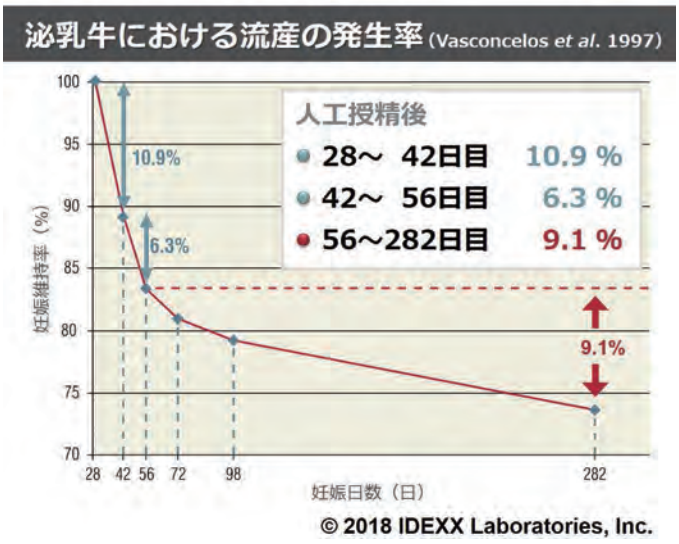


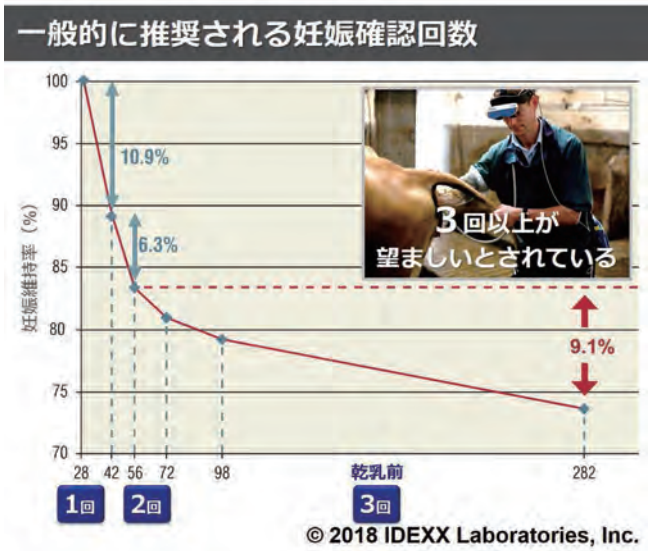
分娩後60日目より検査可能

＊ S-N値：PAGレベルの指標
© 2018 IDEXX Laboratories, Inc.

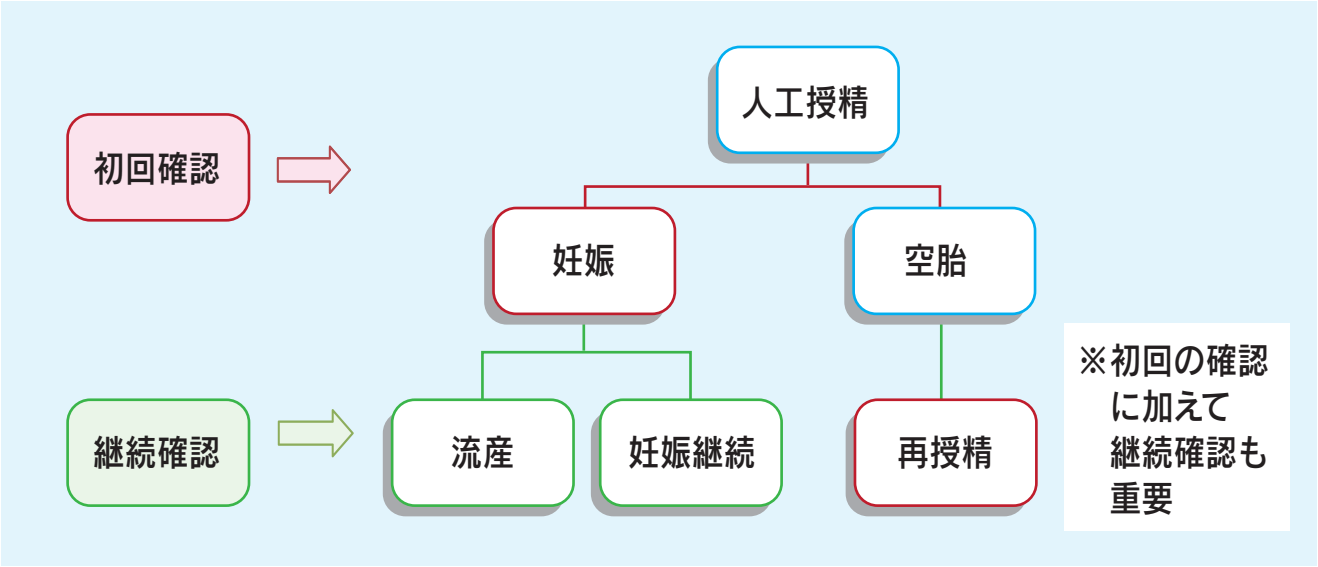
人工授精後28日目より検査可能

＊ S-N値：PAGレベルの指標
© 2018 IDEXX Laboratories, Inc.





初回及び継続確認による空胎の発見



4. PAG検査と直腸／エコー検査の比較

	PAGs検査	エコー検査
メリット	空胎牛の早期発見 妊娠早期の胚死滅や流産の確認 生乳サンプルで判断できる	妊娠･空胎以外の情報も即座に取得可能 子宮･卵巣･胎児の状態確認が可能 授精後26日目以降で受胎確認が可能
デメリット	取得情報は妊娠／空胎のみ 胎児の生死は特定･判断できない 授精後日数によって再検査や偽陰性がある	獣医師の診断技術･機器が必要である 牛の保定の必要がある 授精後早期の診断が困難である(30日以内)

酪農理解醸成・
牛乳消費拡大対策事業

お知らせとご報告について

酪農教育ファーム20周年記念シンポジウムについて

去る９月２２日（土）、都内にて酪農教育ファーム２０周年記念シンポジウムが開催されました。出席者は酪農家・酪農関係者及び教育関係者約２００名に上り、盛会のうちに終了しました。

シンポジウムでは、全国選抜の代表者による実践発表と、酪農家・教育関係者・ジャーナリストなどを交えたパネルディスカッションが実施され、これまでの活動の振り返りと、未来の酪農教育ファームに繋げるための課題や想いを共有する場となりました。九州からは、㈱オオヤブデイリーファーム（熊本県）の大藪真裕美氏と熊本市立力合小学校の藤田まり子校長先生の２名が登壇し、大藪氏からは子ども達や学校関係者に伝えたい想いを発表し、藤田先生からは㈱オオヤブデイリーファームでの酪農体験で得たデータを示し、ブラッシングなどが子どもたちの心の成長に効果的であると発表しました。

今後、２０周年記念の取組としてファシリテーターの皆様へ記念誌とDVDの送付が計画されています。また、当日の様子は酪農教育ファーム推進委員のFacebook内「動画」コンテンツにて公開されておりますので、ぜひご覧ください。

酪農体験学習会について

本会では、酪農体験に係る費用助成（総額の１／２を上限）を実施しています。今年度上半期の助成実績は下記のとおりです。

実施日	開催場所	実施主体
7月14日(土)	さとむら牧場 （長崎県）	佐世保市立宮小学校 (PTA活動として実施)
9月26日(水)	㈱オオヤブデイリーファーム （熊本県）	熊本市立弓削小学校

また、費用助成対象の体験学習会の他に、教師とその家族を対象とした酪農体験学習会を実施して酪農教育ファームの普及・拡大と酪農理解醸成に努めています。その第１回体験学習会を下記により実施しました。

実施日	開催場所	実施主体
10月27日(土)	㈲富安牧場 （熊本県）	教師7名 農業高校生4名

今回は、支援学校や中学校、農業高校の教員と栄養教諭の方々を迎えて開催しました。また、熊本県立菊池農業高校の高橋先生のご厚意で、本会では初めて農業高校生を交えての開催となりました。酪農体験では定番の搾乳体験・哺乳体験に加え、乗馬体験、牛のリードマン体験など㈲富安牧場ならではの体験を実施しました。

ファシリテーターの富安麻紀子氏の酪農に対する想いを交えた説明により、参加者は酪農が教育に対して持つ魅力にどんどん引き込まれていき、それぞれの立場で酪農を教育に取り入れようとする意見をいただきました。

放送局イベントに出展しました！

10月13～14日に熊本「TKUの日」、10月20～21日に長崎「KTN×FM　Nagasaki　Love　fes 2018」、10月27～28日に大分「OAB大感謝祭 もっとJIMOTTO！」のイベントに出展しました。各会場では会員職員および生産者の方々のご協力のもと、牛乳の試飲や模型牛「くるみ・クルクル」による搾乳・哺乳体験を実施しました。牛乳の試飲と搾乳体験を通じて、多くの来場者に酪農を身近に感じて頂くことができました。また、来場者にはリーフレット・ミルメークを同封したサンプリングと風船を配布し、親子連れの方々にもイベントを楽しんでもらうことができました。

実施日	イベント名	会　場	催　物
H30 10/13(土) 14(日)	TKU の日 2018	熊本県熊本市中央区 熊本城　二の丸公園	模擬搾乳･模擬哺乳体験、リーフレット･ミルメークのサンプリング 2,200 部、風船配布 300 個　牛乳の試飲 2,390 杯
H30 10/20(土) 21(日)	KTN×FM Nagasaki Love fes 2018	長崎県長崎市常盤町 水辺の森公園	模擬搾乳･模擬哺乳体験、リーフレット･ミルメークのサンプリング 2,100 部、風船配布 250 個　牛乳の試飲 2,460 杯
H30 10/27(土) 28(日)	OAB大感謝祭 もっとJIMOTTO！	大分県大分市要町 大分駅周辺一帯	模擬搾乳･模擬哺乳体験、リーフレット･ミルメークのサンプリング 2,100 部、風船配布 250 個　牛乳の試飲 3,160 杯

乳和食キャンペーン実施中！

昨年度に引き続き、9月下旬～2月上旬にかけて乳和食キャンペーンを実施していきます。本年度は各県の放送局イベント会場や農業祭にキッチンカーで出向き、牛乳とん汁を提供していきます。9月～10月は『鹿児島　KTSの日』、『熊本　TKUの日』、『長崎　Love　fes』・『大分　OAB大感謝祭』にて実施し、会場では、来場者からの意見として「牛乳が苦手でも食べられる」「減塩に繋がるなら家でも作ってみたい」などの声を聴くことができました。

11月以降の日程としては、11月10日（土）・11日（日）『福岡　ふるさと久留米農業まつり』、11月18日（日）『宮崎KARADA GOOD MIYAZAKIフェスタ』、2月2日（土）・3日（日）『さが農業まつり』で実施する予定です。乳和食のおいしさと減塩効果を消費者に広くアピールし、家庭でも乳和食を作ってもらえるよう訴求していきます。

熊本TKUの日

長崎Love fes

大分OAB大感謝祭

MILK JAPAN秋の店頭販促のお知らせ

流通店舗の牛乳売り場で買い物客へ直接牛乳をＰＲする、店頭販促実施のお知らせです。今回は、牛乳とほうじ茶を組み合わせ、きなこと黒砂糖で味付けをしている『ほうじ茶きなこラテ』です。小さなお子様でも甘くて飲みやすい和風な味わいになっています。11月３日（土）・４日（日）にイオン九州28店舗で実施し、各店舗で先着15名にミルクジャパングッズをプレゼントする他、POPで牛乳売場を飾り、九州生まれの牛乳をPRしました。11月24日(土)・25日(日)にはサトー食鮮館5店舗にて同様の店頭販促を実施する予定です。

また、今回の店頭販促では、『ほうじ茶きなこラテ』を含め３品のレシピを紹介する動画サイトを開設しています。このページのQRコードからアクセスできますので、ぜひご覧ください。店頭販促の実施情報はホームページやフェイスブックでもお知らせしているので、こちらも是非チェックしてみて下さい。

ファン獲得運動や酪農家紹介ムービー、牛乳料理やイベント情報はこちらをチェック！まずは検索してみてくださいね！

ホームページは 九州生乳販連 または 九販連 で検索
URL：https://kyuhanren.com
フェイスブックは 九州生乳販連 または @kyuhanren で検索
URL：https://www.facebook.com/kyuhanren

レシピ動画サイトはこちら↓

新聞広告を掲載しました

check!

新聞を使った酪農理解醸成活動では、酪農の楽しさや素晴らしさを生活者に訴求するとともに、酪農家が明るい笑顔で頑張っている姿を訴えていきます。

本年度は29年度乳質共励会最優秀賞受賞者の長崎県諫早市・山口牧場さん、宮崎県小林市・黒木牧場さん、熊本県菊池市・隈部牧場さんをモデルにして、計２回掲出します。メインコピーは「ウッシッシ！」です。【10月28日（日）掲出実施：長崎県諫早市・山口牧場さん、11月下旬掲出予定：宮崎県小林市・黒木牧場さん、熊本県菊池市・隈部牧場さん】